

三春町議会のあゆみ

歴代議長に三春町議会の課題についてインタビューしました。



かげやま くにいち

影山 國一氏

議員・議長として20年間、教育・道路・水道の課題について、地域住民の皆さまと共に取り組みました。住みやすいまちづくりのため、議員定数の見直しや議員の質の向上、広い視野での意見交換ができる議会に期待しています。



すずき よしのり

鈴木 義孝氏

議長として、常に各議員が自由闊達に意見を論じることができるような議会を意識しながら務めてきました。地域の縮小が顕著な今、執行側を監視する議会の立場もますます重要な時代になっています。現職議員には、さらなる自己言動への責任を認識し、町政に励んでほしいと思います。



くさか みえ

日下部 三枝氏

一般質問は毎回傍聴に伺います。私たちの時代より、各議員さんが専門的に質問するので大変勉強になります。坂本町長が目指す、融和・対話・協働を議会の皆さん、職員の皆さんで協力し、住みやすいまちづくりを目指していただきたいです。



初代議長

ながい もりひさ

永井 盛久氏

合併当初の1955年～1962年の7年間議長を勤めました。

● 1967年

(昭和42年) 議員定数22人

● 1959年

(昭和34年) 議員定数30人

大選挙区選挙に

議員定数の変遷

● 1955年

(昭和30年) 議員定数29人
人口24,300人

1955年(昭和34年)の合併当時98人の議員がいましたが、同年第1回選挙時には岩江を除く旧町村単位で定数を決め29人になりました。

その後、岩江村・下舞木の一部編入や要田地区の一部分離を経て、1957年(昭和32年)に、現在の三春町となりました。